

神奈川県梨教会連合会より

かりん

「み教えに導かれて」

櫻井智行先生は、昭和四十一年九月二十七日、金光教鶴見教会長櫻井信一先生・君江先生の次男として出生されました。

早稲田大学文学部（現…大学院映像研究科演劇映像学コース）を卒業され、平成二十一年に金光教学院に入学、翌二十二年に金光教教師とられました。

○早稲田大学で演劇映像を学ばれていたということですが、いつ頃から興味がおありだったのですか？

櫻井智行先生（以下…智）…中学の頃の友人が映画好きで、誘われて一緒に映像を創ったりした事がきっかけでした。学校にそういう部活はなかったので、仲間と集まってあれこれしていました。

○それで大学でも映画の勉強をしたい、となられたのですね。

智…はい。しかし、映画を作る仕事に就きたかったのですが、当時の状況では無理だとわかり諦めました。というのも、私が学生時代はハリウッド映画の全盛で、日本映

画は黒澤作品と寅さんシリーズ位しかヒットしていませんでしたので。

学生時代に教授から、映画に関する解説などを書くバイトの代わりに頼まれていたのですが、それがきっかけで出版社から記事の依頼や編集の依頼を受けるようになり、卒業後はフリーの編集者として仕事をしていました。

○学院に入学されるきっかけは？



川でスベって山でコロんで…とってきました

Interview

第44回 鶴見教会 櫻井智行先生

智…今から七、八年前の頃、変わらず映画関連の仕事をしながら宗教関連の本

を読む事もあったのですが、素晴らしい事が書かれていても、何か心に響かない…というか、明確な指針を見いだせなくなってきたのです。

そんな中ふと、金光教のみ教えの本を読んだ時に、人間の生活に基づくみ教えに心

を動かされ、もっと知りたい、学院に行かせていただくのかな？という思いに至ったのがきっかけでした。

卒業してから、宗教について考えるようになりました。世界には沢山の宗教があり、その数だけ神様がいるのですが、金光教は他宗教を批判したり蔑んだりせず、むしろ全ての神を尊重し（教えから外れるカルト集団は別として）、その全ての神の上に天地金乃神があると書かれていて、心が助かる気持ちになりました。

○現代は、何か自分と違うものを排除しようという考えが多いように感じます。

智…以前、ユダヤ教のノアの方舟について書かれたものを読んだ事があるのですが、舟で新天地に移動した後、移動先で先頭に立つ人間が傲慢になってしまい、結局争いが起こり、神が怒って全て消してしまう、ということでした。神が与えた人間が、互いを尊重し合い助け合う事で、平等な世界が出来てくる、という事を書いているのではと思います。

金光教の教えにもありますが、個性を認め合い、お互いを尊重し合う事が、世界の平和にも繋がるのではないかと思います。

○ありがとうございました。（今村則子）

7月5日(水)、神奈川県教会3階ホールで、「女性のつどい」が開催されました。参加者は11教会から28名でした。

今回は、共に鎌倉教会信徒である古賀さやかさんの「介護が必要になったら」と、吉岡裕子さんの「着物から遊び着を作った」の二本立てでした。

古賀さんは一緒に暮らしていた実母を介護された経験から、介護が必要になる時、サービスを受けるまで、そして、受け入れてからのことなどを、専門家(横浜市社会福祉協議会を昨年春に定年退職)としての視点を交えながら、話して下さいました。

平成17年8月、同居しているお母様が、熱中症で倒れて入院され、入院中に看護師・医師から「認知症ではないか」と指摘を受けました。その1、2年前からおかしいと感じることがあったのに、そのことに気がつかなかった。一緒に暮らしていると、少しずつ変化していくのを感じない、また「しつかり者の母に限って」という思い込みもあって、見過ごしていたのでした。

退院してしばらくはデイサービスを受けていたのですが、頑張りすぎてしまい、「このままでは共倒れになる」という専門家のアドバイスに従って、特別養護老人ホームに入所することになりました。待ち人

女性のつどい報告

大塚東子

数がものすごく多かったにもかかわらず、たまたま近くに新しいホームが出来たことで、すんなり受け入れてもらえ、しかも個室だったことから、最初の1週間は家族が泊まることができ、兄妹で十分に看取るこゝとが出来た、など有難く感謝しているというのでした。

続いて、吉岡裕子さんの着物のリメイクについて。吉岡さんは、着ることをおしやれだけでなく自己実現と考えていて、テレビや雑誌だけでなく、車内や街で人をよく見、着ているものを観察しているそうです。中でも民族衣装は素敵だなあと思うとか。

たまたま着物教室で着物を洋服に仕立て直すことを体験。直線截ち直線縫いで、簡単な割に着映えがすることを気に入り、長く続けることになり、今では「趣味は着物のリメイク」と言えるまでになられている様子。関東教区信徒会や全国女性ネットワークの場でも披露されています。10年以上にわたって作ってこられた作品の数々を見せながら、エピソードや旅の思い出を語って下さいました。

最後に、出席された皆さんに、自己紹介を交えて一言スピーチをお願いしました。

講師のお二人、ありがとうございました。



○かりんの輪

「しあわせは、受け取り方」

横浜西教会 山田朋歩

私が勤務する、幼稚園の職場の飲み会でのお話です。

普段の会話は、保育のことばかりですが、(飲み会もメインはそうですけど...)趣味のこと、家族のこと、彼氏のこと。たくさんのお話しが聞けて、楽しい時間でした。中でも主任の娘さんの話に感動しました。58歳の主任には、次女の息子である12歳のお孫さんがいます。なんと、次女の方は、10代のできちゃった婚だったそうです。

高校の時から付き合っていた大学生の彼氏との間に、短大在学中に子どもを授かりました。主任としては、高校生に手を出す大学生に、「ちょっと?!?!?!」と思ったそうですが、お腹に子どもがいるとわかった時には、就職していたそう、経済的になんとかなりそうだからと、結婚を認めたそうです。

妊娠したと聞いた瞬間、主任は可愛い娘の心配よりも、自分の幼稚園教諭、主任としての立場のなさを思い、世間体を気にしてしまったと話していました。「こういう時に自分は、自分のことを考えてしまうんだ」と、落ち込んだそうです。

森戸海岸散策に参加しました

6月4日、地域交流会の散策場所は葉山御用邸裏海岸、県立葉山公園、森戸神社、森戸海岸などでした。

参加者は8教会、先生1名を含む12名。逗子駅バス乗り場から京急バス葉山行に乗り、近代美術館前で下車。美術館の横から庭に入り散策路のオブジェを見ながら海岸口へ抜けて、裏側の海岸に出ます。この近道は下見の成果発揮です。海岸はあちこちで海の家を組み上げ中、海開き近しを感じました。海の打ち寄せる白波を見たら思わず裸足になって海へ突撃。引き波が強く海に引き込まれそうになりました。水温はまだ低く、泳いだら心筋梗塞の恐れありでしたが、子供たちはスッポンポンの幼児もいて元気に遊んでいました。

海岸を歩いて行くと高い壁に囲まれた御用邸が見えます。「カメラを向けないように」と幹事の注意がありました。御用邸を写すとおまわりさんに注意されるそうです。さらに、海岸を進むと「象の鼻海岸」に着きました。遠くから見ると象の鼻に見える細長い岬で象の頭の上から海を眺めると海水の浸食にあつて削れた奇岩があちこちにあり、飽きない光景でした。

お昼が近くなり、お腹がすいてきた所で、葉山公園に到着し、東屋の中で昼食会を開きました。すると、山からトンビが飛来し

ボクにも分けておくれと周辺を飛び回ります。東屋の屋根のおかげで名物のトンビの襲撃は無く平穏な昼食が取れました。各自の味自慢の中で廻食されて美味しいと評判になった自作の梅酢漬けレシビをご紹介します。

○梅1Kg、酢4カップ・砂糖300g・塩150g 一週間位経つと食べられます。

昼食が終わって移動です。御用邸前から逗子行きバスに乗り。森戸神社前で下車。神社に参拝し、神社横の海岸へ。沖の裕次郎灯台を見ました。次に神社鳥居横の赤い橋を渡って海岸に出て、砂浜を散策し休憩をとりました。海岸で石を拾うメンバーがいたので、見せてもらったら黒い石で「油石」と言い、お風呂で足の裏をこすったりするとのことでした。

天候はすこぶる晴天で、江ノ島から出ているヨットが海を進むのが綺麗で素敵でした。帰りは清浄寺（しろうじょうじ）から逗子行きバスに乗り。疲れたメンバーは昼寝の時間となりました。逗子駅到着後、全員無事に解散しました。

（藤沢教会
高橋義吉・好子）



そんな主任を救ったのが、弟のお嫁さん。次女のことを伝えた後の第一声が、「よかつたね！」で、「何言ってるんだこの人は！」と主任は思い、どうしてかと弟のお嫁さんに聞いてみると、「19歳で、一生一緒にいたいと思える人と出会えるなんて、素晴らしいじゃない。」と言ったそうです。そういう考え方もあるのかと、主任はその一言に救われたと言っていました。

「うちの次女は、大学、社会人という楽しい時間を犠牲にして、子どもが子育てをして、自分より年上のママ友の中ですごく頑張ってたし、大変な思いをしてきた。でもね、○○（孫）には変えられないの。○が生まれてきてくれて、あの時の結婚という選択は間違いないやなかった。反対しなくて本当に良かったって今は自信を持って言える。本当に何が幸せかわからないし、人生いろいろなの……。」

我が子の心配よりも、自分の心配をってしまったという自分の弱さを話してくれたこと。物の捉え方によって心が変わること、助かること。10代の結婚と聞くと大丈夫なの？と思ってしまうけど、人生いろいろ幸せもいろいろということ。

1つの話から、いろいろなお話ときちやちや、そんな素敵な主任のお話でした。



平成 29 年 神奈川山梨教会連合会 生神金光大神大祭日程

教会名	日 程
甲府教会	10月15日(日) 13時30分
鎌倉教会	10月22日(日) 13時30分
登戸教会	10月22日(日) 13時
横浜西教会	10月22日(日) 13時30分
南甲府教会	10月28日(土) 11時
大明教会	10月29日(日) 13時30分
横須賀教会	11月3日(祝) 13時30分
生麦教会	11月3日(祝) 13時
丸子教会	11月3日(祝) 13時
相模原教会	11月3日(祝) 14時
子安教会	併布教三十年記念祭
鶴見教会	11月11日(土) 13時
平塚教会	11月12日(日) 13時
武蔵小杉教	11月12日(日) 11時
大磯教会	11月14日(火) 13時
野毛教会	11月18日(土) 11時30分
小田原教会	併開教百年記念祭
神奈川教会	11月23日(祝) 14時
藤沢教会	11月25日(土) 11時30分
津久井教会	未 定 11月28日(火) 11時

みんなのつどい②ファミリーキャンプ

6月17日18日の両日、鶴見教会でファミリーキャンプが行われました。参加者は、22名でした。

初日は、御祈念の後、参加者が分担して夕食のカレーライスを作りました。その後、菅原幸和さん(野田市教会信徒)のハーモニカ演奏などを楽しみ、就寝となりました。翌日は、東芝科学館の見学を楽しみ、現地で解散となりました。



《お知らせ》

○宗教文化講座

神奈川県宗教連盟主催の講座です。

▼日時 10月30日(月) 14時～16時

▼会場 神奈川中小企業センタービル

14階 多目的ホール

▼講師 渡辺順一先生

(金光教羽曳野教会長)

『現代版駆け込み寺を、地域社会に』

*大阪で生活困窮者の支援をされている金光の先生のお話です。参加費無料で、どなたでもご参加いただけます。

「幸せな思い」

武蔵小杉教会 溝川 顕一

〈な・が・れ〉

先日、現場の仕事を終え、工具と材料を台車に載せて駐車場に向かつて歩いていたら、ふと顔を上に向けると、頬に雨が流れた。その時「幸せだなあ」という感情が湧いてきた。なぜそんな気持ちになったのかよくわからないまま家路についた。

その夜、風呂に入ると床にカメムシがいた。普段ならシャワーで流してしまおうのだが、ふと気が付くと手に取り、窓を開けて外に逃がしていた。その晩、真夜中に目が覚めた時、ふと永井龍雲の「想い」の一節が浮かんできた。

「灯りに集う虫達にさえ優しくなるのは何故だろう(中略)僕は手紙の中の小さな文字になり君の心の中に溶け込んで行きたい」

今私は、多くの人をそっと祈らせて頂いている。きっと人は、恋をしている時、想いを寄せる人がいる時、優しい気持ちになれるのだろう。「有り難いなあ」は、思わせて頂く修行であり、「幸せだなあ」は、自然と湧き上がってくる感情であると思う。その時やっと、昼間の「幸せだなあ」の気持ちに納得し眠りに就いた。

金光教神奈川山梨教会連合会

発行者 山田 信二

〒245-0017 横浜市泉区下飯田町926・23
金光教横浜西教会内